

令和 8 年度山口大学入学者選抜学力検査 前期日程

国語 解答例

令和 8 年 2 月 山口大学

掲載にあたって

- ※試験問題の公開にあたり著作権保護の観点から、問題文を掲載していない場合があります。
- ※解答例（または出題の意図）についての質問・照会には一切回答いたしません。
- ※「正解・解答例」については、あくまで解答例を例示したものです。
- ※一義的な解答が示せない記述の問題については、出題意図のみを公表します。

問五 法師が里に出ていくことをしなかったのも、里の人々が同情して食料を持ってきてくれていたこと。

問六 西

問七 人は、相手が死んでしまえば他の人に心が移り、愛を誓った相手のことはすっかり忘れてしまうことが一般的であるのに、この法師は心から妻の死をいたみ、供養にとめたことはめつたにないほどすばらしいことである。

【大問「三」解答例】

問一 A わかくして（わかきとき・わかきころ） B しょうせらる（たたえらる）

C おそる D すなわち

問二 エ

問三 乞_レ使_二王彦方知_一也

問四 盗人が過失を私に聞かれるのを懼れたのは悪を恥じる心があるからであり、悪を恥じる心を懐く者は必ず過ちを改めて善人になる可能性をもつので、その心を励ますため、と説明した。

問五 諸の曲直を争訟すること有りて、將に之を烈に質さんとするも、或るひとは塗に至りて反り、或るひとは廬を望みて還る。

問六 老人が道端で置き忘れた剣を、老人が気づいて暮れ方にもどるまで、誰にも取られないように見守っていた行動。